

AIによる 人検知式横断歩道

KCS大分情報専門学校

情報マルチメディア科 佐藤ほのか

背景

11 住み続けられる
まちづくりを



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



バリアフリー



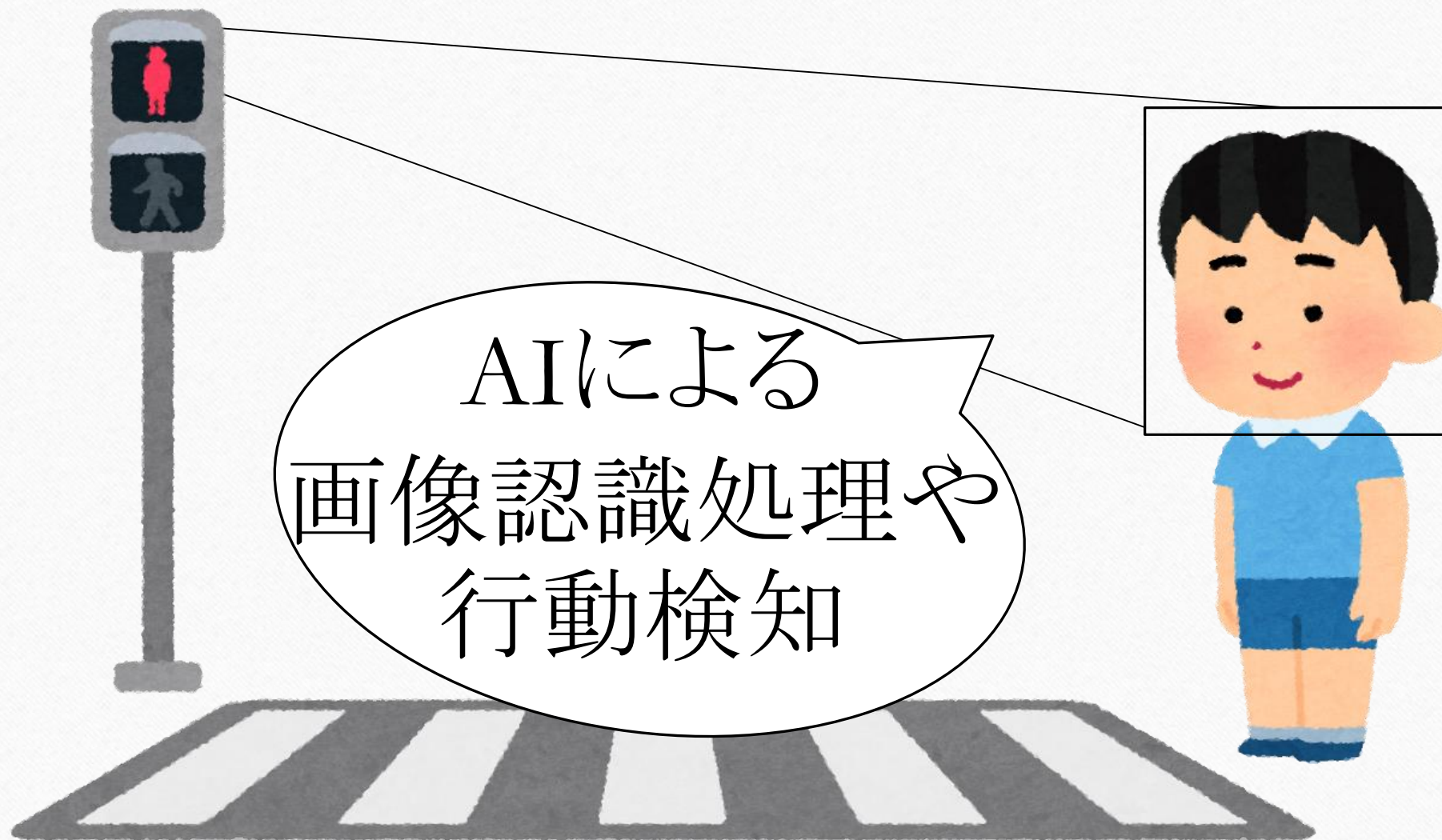
提案の理由



中には
不自由な人も...

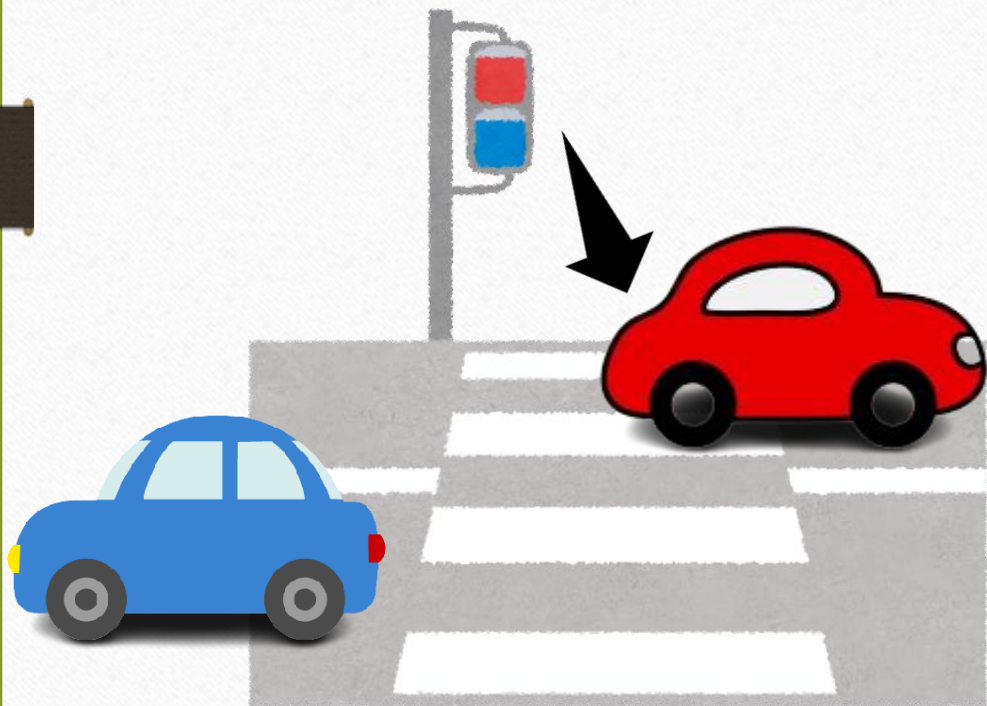


提案



信号切り替え以外でも

横断の障害物があると
知らせしてくれる



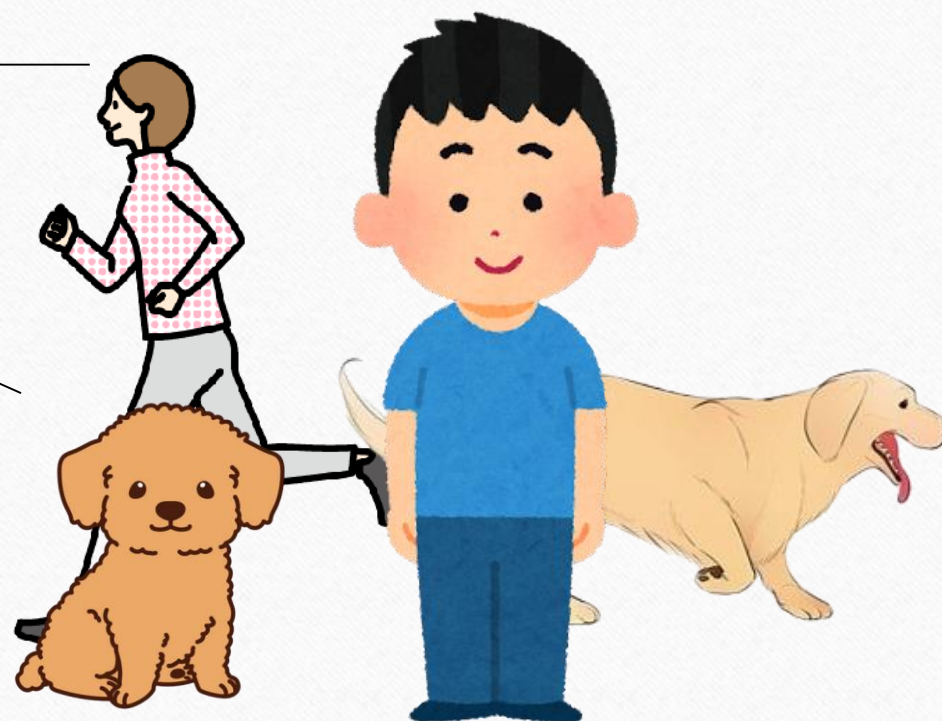
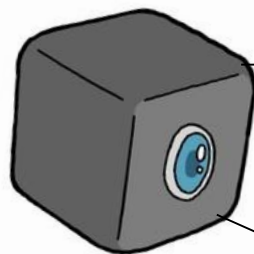
信号がない
ところ



画像認識

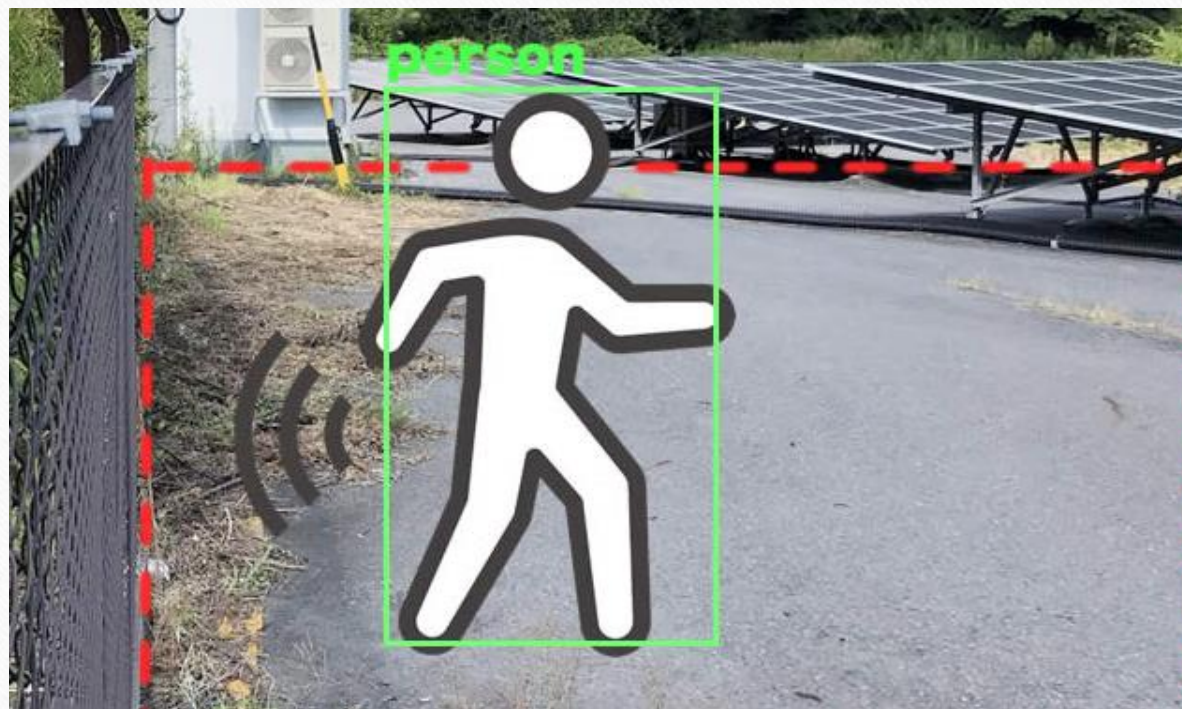
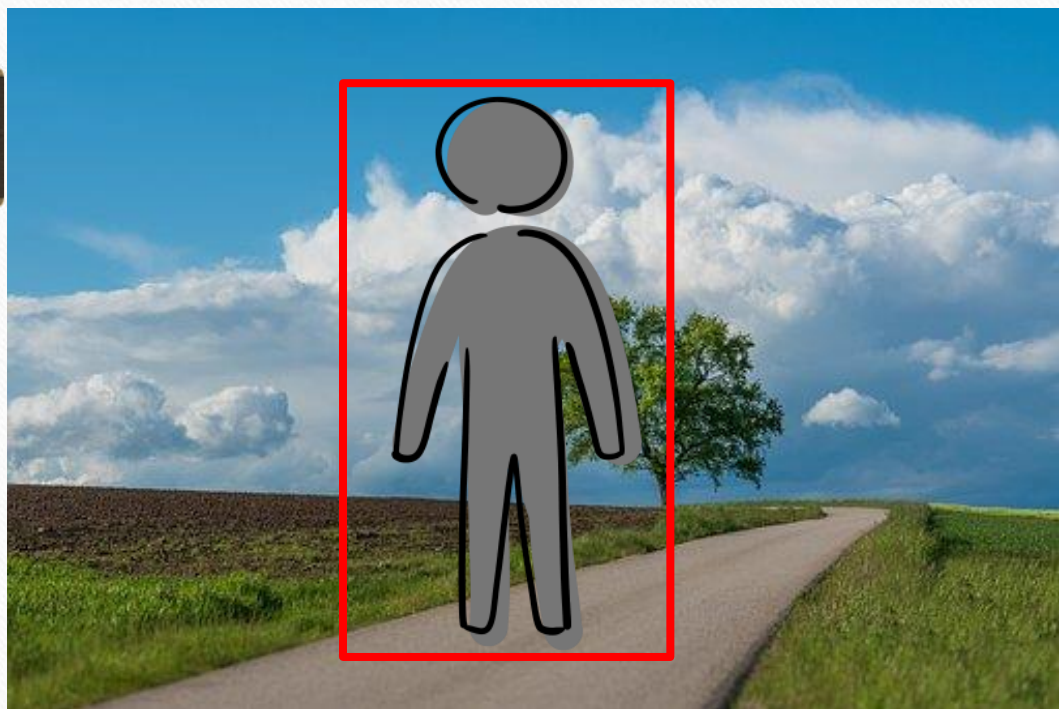
止まっている人や動いている人の「特徴」を分析する

「特徴」データを学習



行動検知

止まっているか、動いているかを
検知する



通り過ぎた人は
検知しない



問題点

AIが反応しない・誤認識



AIが学習して認識率を
高める

ターゲット

導入対象: 信号設置等を担当する都道府県

利益対象: 目の不自由な人、大量に荷物を持つなど手がふさがっている人、押しボタンなどを忘れている(知らない)人



設置コストの回収

寄付したり...



道路による犯罪行為
で罰金を取ったり...



寄付の中でも...



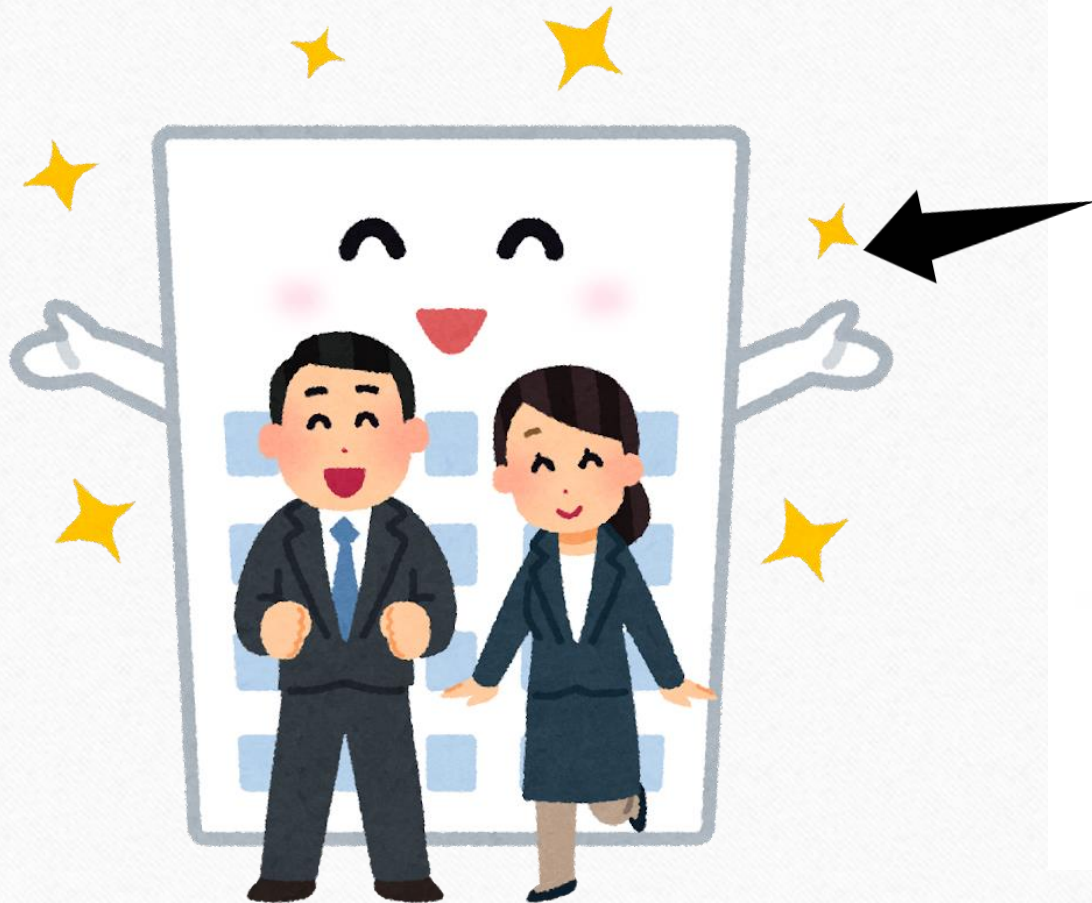
社会福祉法人 大分県盲人協会



社会福祉法人 **日本視覚障害者団体連合**

Japan Federation of the Visually Impaired

企業も宣伝できる！



AIを導入することによって、視覚
障害者や荷物をたくさん持って
いる人にとって安全に住み続け
られる街づくりになる



ご清聴ありがとうございました